

専門教育科目

講義科目

科目名： 企業家に学ぶ経営		科目コード	HA84
科目主査： 内藤 英俊		単位	2
担当講師： 榎村 麻里子、川並 剛、鶴岡 公幸、 内藤 英俊、宮本 博文		配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>本科目では、企業を成長させてきた創業者・企業家の活動や、歴史的な背景を含めた企業活動を具体的な事例から学習します。様々な分野の経営活動から、先人が経験し蓄積してきたビジネスのポイントを理論的に学び取ることで、経営の基本的な知識を身につけることを目的とします。なお、担当の講師によって、スクーリングの講義計画における授業項目・内容が、授業スケジュールと異なる場合がありますので、ご了承下さい。また、オンライン授業において、テキストの全章を取り上げることは難しいため、割愛する章・節があることもご了承願います。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>テキストの全章が最終試験の対象範囲となりますので、事前にテキストを熟読し、重要点や分からない点・理解に自信のない点についてマーキングしておきましょう。</p>		
テキスト	『歴史に学ぶ経営学』吉沢 正広, 学文社, 最新版		
この科目の到達目標	<p>①様々な分野（業界）の企業経営の活動事例から、企業家としての先人が実践し蓄積してきたビジネス上のポイントを理論的に理解して説明することができる。 ②企業家としての先人が実践で取り組んできたビジネス上のポイントに対して、市場における新たな課題の解決に向けて理論的に考察することができる。</p>		
成績評価の方法	<p>オンライン授業の1日目の授業を受けて、学習したことについてのレポート課題「課題提出」への取り組み状況などにより評価を行います。また、「最終試験」では、1日目の授業および2日目の授業を通じて学習した範囲の客観式問題、専門用語解説、取上げたケース・スタディなどについての記述式問題などを出題し、それらを総合評価します。なお、1日目のレポート課題「課題提出」のテーマ、「最終試験」の問題構成、配点などについては、担当講師により異なりますので、ご了承下さい。</p> <p>※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。</p>		
事後学習	<p>「企業家に学ぶ経営」という観点から、日本における企業家の事例を踏まえ、その理論的な意義と理解を深めるために学習してきました。そこで、受講者の皆さんの所属する企業などの組織において、これまでに企業家が実践的に取り組んできたイノベーション活動（革新的行動）に対して、ご自身の職場の問題解決の一助となる糸口となることを期待しています。そして、今回学習してきた企業家たちは、現在の私たちが現実に立たされている課題などの状況について何を物語っているのかを自問自答しながら、どのような行動をとったら良いかのヒントとして下さい。</p>		
事後学習の参考文献	<p>『企業家に学ぶ日本経営史』宇田川 勝 他、有斐閣、2011年 『ケースに学ぶ日本の企業』加藤 健太 他、有斐閣、2013年 『企業家学のすすめ』宮本 又郎 他、有斐閣、2014年</p>		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。			